

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2016年1月



【発行】
 河北新報普及センター
 (KFC)
 【協力】
 尚絅学院大
 名取市内
 11,000部
 【編集】
 エリカ 教
 【印刷】
 電話 022(268)2991

名取で活躍する「きらり」と輝く「ヒト」(個人・団体)を紹介し、

◆

人を癒やしたい、幸せにしたい、地域を超えて人や物をつなぐ女性がいまます。名取市相互会の鈴木希和子さん(53)です。

鈴木さんは自宅を会場に、アロマツッチの講師を招いての講習会を開いています。アロマツッチとはエッセンシャルオイル(精油)を使ったマッサージ、体や心のバランスを整える効果があるとされています。きっかけは2011年3月の東日本大震災と自身の闘病生活でした。

仙台市の食品メーカーで営業として働いていた鈴木さんは、仕事で訪れていた石巻で被災しました。

津波から車で逃げながら「死を覚悟」、子どもたちも自分がいる場所を「さよなら」というメッセージを

「名取で活躍するきらり」と輝く「ヒト」(個人・団体)を紹介し、

◆

人を癒やしたい、幸せにしたい、地域を超えて人や物をつなぐ女性がいまます。名取市相互会の鈴木希和子さん(53)です。

鈴木さんは自宅を会場に、アロマツッチの講師を招いての講習会を開いています。アロマツッチとはエッセンシャルオイル(精油)を使ったマッサージ、体や心のバランスを整える効果があるとされています。きっかけは2011年3月の東日本大震災と自身の闘病生活でした。

仙台市の食品メーカーで営業として働いていた鈴木さんは、仕事で訪れていた石巻で被災しました。

津波から車で逃げながら「死を覚悟」、子どもたちも自分がいる場所を「さよなら」というメッセージを



きらりなひとりひとりの

名取から世界へ発信

アロマツッチ教室主宰

鈴木希和子さん

携帯電話から送信し、必死で「どこを渡ったのか覚えていませんが、奇跡的に助かりました」と振り返り、

◆

余社は被災地支援に取り組み、石巻に通う日々が始まり、忙しさとストレスで体調を崩しました。声帯腫瘍の切除をきっかけに退職を決意。健康や食、どう生きるかについて考え始めました。「人は簡単に死んでしまう。助かったからこそ健康で生きなければ」と語り言葉に力を込めます。

◆

最新の情報や流行は全部



アロマツッチの施術の様子を見守る鈴木さん。(中央奥)

◆

余社は被災地支援に取り組み、石巻に通う日々が始まり、忙しさとストレスで体調を崩しました。声帯腫瘍の切除をきっかけに退職を決意。健康や食、どう生きるかについて考え始めました。「人は簡単に死んでしまう。助かったからこそ健康で生きなければ」と語り言葉に力を込めます。

◆

最新の情報や流行は全部

市でなくともSNS(会員制交流サイト)を使つてどこからでも発信できる時代。精力的に活動する女性を応援する「頑張る女性の山椒美」

◆

彼女が輸出する乳がん用下着の東北地域での販売元になっています。ホームページを通じてハワイ文化も紹介しています。

◆

最新の情報や流行は全部

◆

彼女が輸出する乳がん用下着の東北地域での販売元になっています。ホームページを通じてハワイ文化も紹介しています。

◆

最新の情報や流行は全部



山椒美

◆

最新の情報や流行は全部

◆

最新の情報や流行は全部

◆

最新の情報や流行は全部

◆

最新の情報や流行は全部

◆

最新の情報や流行は全部

◆

最新の情報や流行は全部



学生記者ライオン出陣

◆

集まれなとりっ子！ 笑顔いっぱい幼稚園



おやつを食べる預かり保育「さくら」の園児ら

尚綱学院大付属幼稚園

尚綱学院大付属幼稚園「遊びこみ」友達同士で（岩倉城城長）は3年間しっかりと話し合いことで保育を基本としています。キリスト教の精神に基づき人間教育を理念とし、子ども一人ひとりの個性を大切にしています。子どもたちは思い切り

豊かな自然に囲まれ、花見や虫取り、ドングリ拾い、雪遊びなど四季折々の遊びを通じて多様な経験を育み、心と体の発達を促します。坂本由佳里教頭(49)は「興味を失わずに成長してほしい」と願っています。ほほ笑みました、湊谷桃桃

「サクラ」を大切に

地域の人もつと尚綱学院大付属が丘に親しんでほしい。地域に開かれた大学にするため、学内のサクルや入館を紹介し、第1回は山初音記者が環境活動サークル「ROG S」のブログへ取材しました。学内探検へレッツGO!



清掃活動を行うメンバー

大学には体育会、文化会、愛好会といったサークルが32団体あります。ブログは環境について学び、考え、行動するサークルです。メンバーは現在22人、生活環境学科の学生が結成し、活動を始めました。学科は人間と環境の関係を学び、未来に貢献できる専門能力の育成を目指しています。本年度から名称を「環境構想学科」に変更しています。昨年から広く他学科にも入部を呼び掛けています。

前部長で生活環境学科3年、清野賢文さん(21)は所属前から環境活動に興味があり、サークルに入ってから仲間と協力して活動してきました。2011年に発生した東日本震災で津波の被害が大きかった閉鎖地域の植樹ボランティアに参加。環境問題を多くの人に考えてもらうきっかけづくりの大切さを感じました。後輩たちには他大や地域の人々との交流促進を期待しています。

☆取材を通じてわかったこと
「環境活動」は誰もが簡単に取り組めるということもあります。私も自宅周辺の清掃活動に取り組み中であり、継続することの大切さを再確認しました。大学にはまだたくさんのサークルがあります。次回の紹介を楽しみにしていてください。



◇大手町「青木健治所長」
住所 大手町4-13-6
連絡先 384-0762
KFCの販売所長船橋所長3年、清野賢文さん(21)は所属前から環境活動に興味があり、サークルに入ってから仲間と協力して活動してきました。2011年に発生した東日本震災で津波の被害が大きかった閉鎖地域の植樹ボランティアに参加。環境問題を多くの人に考えてもらうきっかけづくりの大切さを感じました。後輩たちには他大や地域の人々との交流促進を期待しています。



メール: hananomo-kfc@kahoku-fc.co.jp
2027-83333
ハナモモ通信
フェイスブックQRコード

行けなかった場所もあるの
で、機会を見つけて訪ねたいです。
販売所と地域のかかわりは「清掃活動のお手伝い」程度、消滅的だったと感じており、もっと地域や住む人のかかわりを増やしていきたいと考えています。悪天候でも毎日(ほぼ同じ)時間に配達する「地域の定期便」を自指しています。よろしくお願ひします。

新春プレゼント
皆さんのご意見、ご感想と情報提供をお待ちしております。新春企画として、応募者の中から5名に「かほく通信」福袋をプレゼント。住所、氏名、年齢、電話番号を記入してメールかファクスまたは郵送で、KFCハナモモ通信センターに保まで(住所)仙台市青葉区五橋1-1-10(ファクス)2027-83333